Rhinoceros®
modeling tools for designers

Rhino7 for Windows

ラボラトリーライセンス インストールガイド

AppliCraft

株式会社アプリクラフト

2020.12.21

Rhino7 for Windows ラボラトリーライセンス インストールガイド

この度は Rhino7 をご購入いただき、誠にありがとうございます。
インストールする前に、以下をご確認いただきますようお願いいたします。

■ ライセンスキーのご確認

ライセンス証書（紙）または電子メールにライセンスキー（RH で始まる英数字）を記載しています。ライセンスキーはライセンス認証の際に使用します。

■ **Rhinoceros** に関するお問い合わせ、各種情報に関して

Rhinoceros に関するお問い合わせ・ご要望などは E-mail にて承ります。

メールアドレス	技術的なお問い合わせ	support@rhino3d.co.jp
	その他のお問い合わせ	info@rhino3d.co.jp

ホームページ	Rhinoceros よくある質問	https://www.applicraft.com/qanda/rhinoceros/
	Rhino 開発元ウィキ	https://wiki.mcneel.com/ja/homepage
	アプリクラフトに関して	https://www.applicraft.com/

目次

1. インストール環境.....3

2. **Rhino7** ライセンス管理方法について.....4

3. **Rhino** アカウントの作成、設定.....5

4. **Zoo7** のインストール・設定（ホスト **PC**）～初めて **Zoo** を設定する場合～.....11

5. **Zoo7** のインストール・設定（ホスト **PC**）～**Zoo** をアップデート～.....13

6. **Rhino7** インストール方法.....14

1. インストール環境

■ ハードウェア:

- 64 ビットの Intel または AMD プロセッサ（ARM はサポートしていません。）
- 63 より多い CPU コアは対応外
- 8GB のメモリ（RAM）またはそれ以上を推奨
- 600MB のディスク空き容量
- OpenGL 4.1 対応のビデオカードを推奨
- 4GB ビデオ RAM またはそれ以上を推奨
- スクロールホイールのある複数ボタンのマウスを推奨
- オプションで SpaceNavigator
- オプションで Boot Camp を搭載した Apple Intel ハードウェア
  （Boot Camp は Apple Silicon M の Mac ではサポートされていません。）

■ 対応 OS:

- Windows 10、8.1

■ 対応していない OS:

- Windows 8 およびそれ以前のもの
- Windows Server（すべてのバージョン）
- Apple Silicon M1 の Mac での Boot Camp
- VMWare、Remote Desktop、Parallels などの仮想化システム
- Linux
- Microsoft SQ® 1 および 2 を含む ARM プロセッサ

■ インターネット接続:

- ダウンロード
- ライセンスのバリデーション
- Rhino アカウント使用時
  - フォーラムでのテクニカルサポート
  - Cloud Zoo によるライセンス管理

2. Rhino7 ライセンス管理方法について

ラボラトリーライセンスの認証方法は下記の2つがあり、Rhino インストール時または起動時にどちらで使用するかを選択します。条件やメリットデメリットから、環境にあった管理方法をご選択ください。またいずれの管理方法の場合も、管理者が必要です。

Rhino アカウント(Cloud Zoo)	
対象	・外部とのインターネット接続が可能な教育機関。
条件	・ライセンス が紐づけられた Rhino アカウントにログインできること。 ・Rhino 起動時にインターネット接続が必要。 （認証から 1 週間はオフラインでの使用可能）
メリット	・インターネットさえ接続できればどこからでも Rhino を起動することができる。
デメリット	・アカウントを忘れた場合、ライセンスの削除や移動ができなくなる。
Zoo	
対象	・セキュリティが厳しいまたは、施設内サーバーで管理したい教育機関。
条件	・ローカルネットワーク内に Zoo サーバーを配置する必要がある。
メリット	・外部接続なしで、教育機関内で管理できる。
デメリット	・サーバーに接続できない場合 Rhino を使用できない。 （30 日以内であればオフラインで使用できるチェックアウト設定が可能）

※1. Rhino7 ラボラトリーライセンスをスタンドアロンで認証させることは使用許諾上できません。
※2. Rhino アカウントで管理する場合、使用状況ページに利用者のアカウント名とメールアドレスが表示されます。所属する組織のドメイン・氏名でのご登録を推奨します。

3. Rhino アカウントの作成、設定

(1)アカウント作成（管理者およびすべての Rhino 使用者）

① https://accounts.rhino3d.com/ にアクセスします。

②「新規アカウントを作成」を選択します。

③「Google アカウントをリンク」で、Google アカウント選択を行うことができます。

「Facebook アカウントをリンク」で、Facebook アカウント選択を行うことができます。

Google・facebook アカウント以外のメールアドレスを使用する場合は

「いいえ、Rhino アカウントのパスワードを使用します。」を選択します。

④「いいえ、Rhino アカウントのパスワードを使用します。」を選択した場合は

下記を入力して「新規アカウントを作成」を押します。

(2)チーム作成(管理者)

チーム作成は管理者が行います。

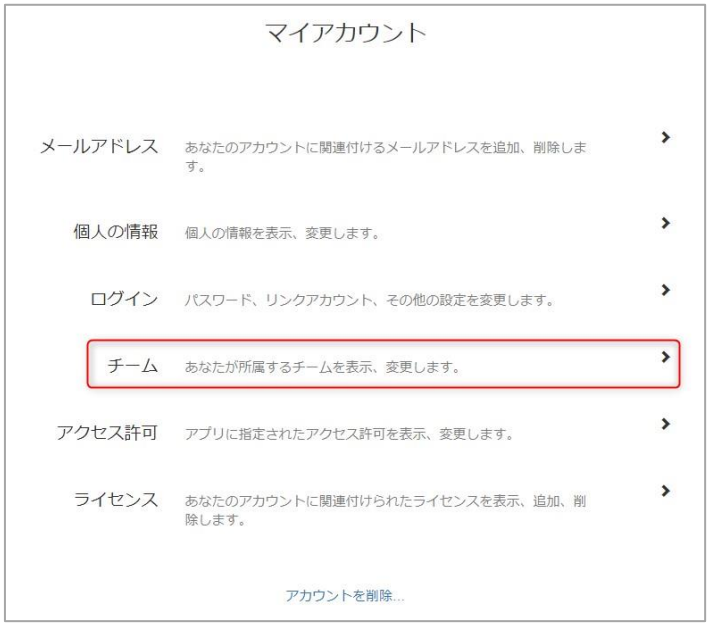
権限について:

チーム作成者(管理者)はライセンス・チーム・メンバーの追加・削除の権限を持ちます。

招待メンバー(使用者)は上記権限を持たず、

ライセンスの使用・メンバーの確認・ライセンス使用状況の確認のみが可能です。

①Rhino アカウントにログインし、マイアカウントから「チーム」を選択します。



②チーム画面から「新規チーム」ボタンをクリックします。

③名前、説明を入力後、「新規チームを作成」ボタンをクリックします。

④チームが作成されました。

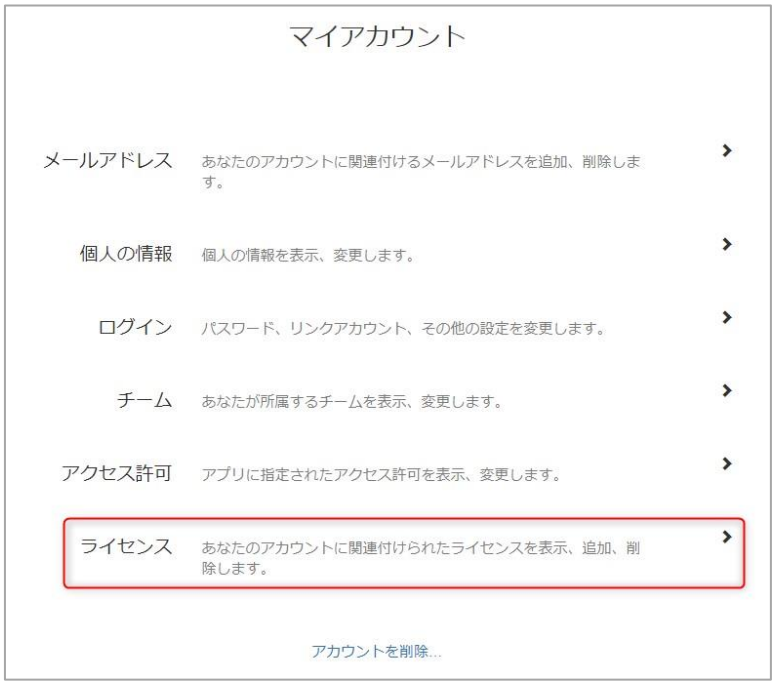
⑤続いて、上記画面右下の「操作」から、「メンバーを招待」を選択します。

⑥招待状の言語を選択、招待メンバーのメールアドレスを入力し（複数入力可）、
「送信」ボタンを押します。

⑦招待されたメールアドレスに、招待メールが送信されますので、
受信者は「承諾」を押します。「承諾」したメンバーはチームに追加されます。

(3)ライセンス追加（管理者）

①続いてライセンスを追加します。マイアカウントから「ライセンス」を選択します。



②ライセンスを追加したいチーム名をクリックします。

③「ライセンスを追加」ボタンを押します。

④ライセンスの場所がチーム名になっていることを確認、製品を選択
（プラグインの場合もここで選択）、ライセンスキーを入力、
「ライセンスを追加」ボタンをクリックします。
複数ライセンスがある場合は、同様に登録を行います。

⑤以上でチームによるライセンス管理の登録が完了しました。
以後チームメンバーは、登録ライセンス数使用可能になります。

チーム削除時の注意：
チームにライセンスを登録したままの状態でチームを削除した場合、チームに登録してあるライセンスが使用できなくなります。
チームを削除する場合は、かならずライセンスを解除したのちに実行ください。

4. Zoo7 のインストール・設定（ホスト PC）～初めて Zoo を設定する場合～

Zoo は、Rhino と同じネットワーク上に所属する「Windows PC1 台」に設定します。

※ Zoo7 は、Windows7 以降の OS 上で動作します。

※ ファイアウォールで TCP ポート 80 が開かれていることを確認してください。

※ Microsoft .NET Framework 4.5（http://rhino3d.com/net45 よりダウンロードできます）が必要です。

(1)Zoo7 のインストールプログラムをダウンロード

https://www.rhino3d.com/download/zoo/7/latest

こちらのページで、メールアドレスを入力した後、「次へ」をクリックしてダウンロードします。

（インストールプログラムは、PC に保存してください）

(2)Zoo7 のインストール

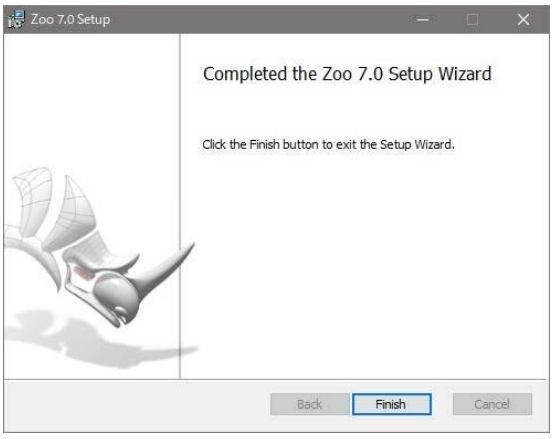
①インストールプログラムを起動

「手順 1」でダウンロードしたファイルをダブルクリックして、インストールプログラムを起動します。

※ 2020 年 12 月現在のプログラムです。

②Zoo7 をインストール

Install をクリックし、Zoo7 のインストールを開始します。



インストールが完了したら Finish をクリックします。

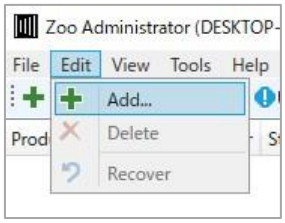
これで Zoo7 がインストールされました。

(3)Zoo 7 へのライセンスの追加・登録

①Zoo7 を起動します。

Windows の［スタート］から、「Zoo7.0」フォルダ内の「Zoo 7」をクリックします。

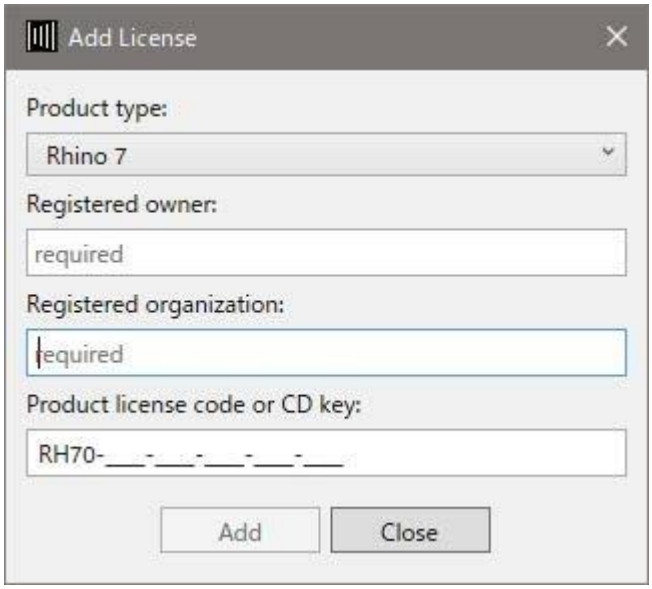
②Zoo7 の Edit メニュー＞Add を実行します。



③Add License 画面が表示されます。

ドロップダウンリストより、ライセンスを登録する製品を選択（画像は Rhino 7 を選択した場合）後、名前、組織名、ライセンスキーを入力し、［Add］をクリックします。

※プラグイン製品の場合も同様に選択・追加します。



5. Zoo7 のインストール・設定（ホスト PC）～Zoo をアップデート～

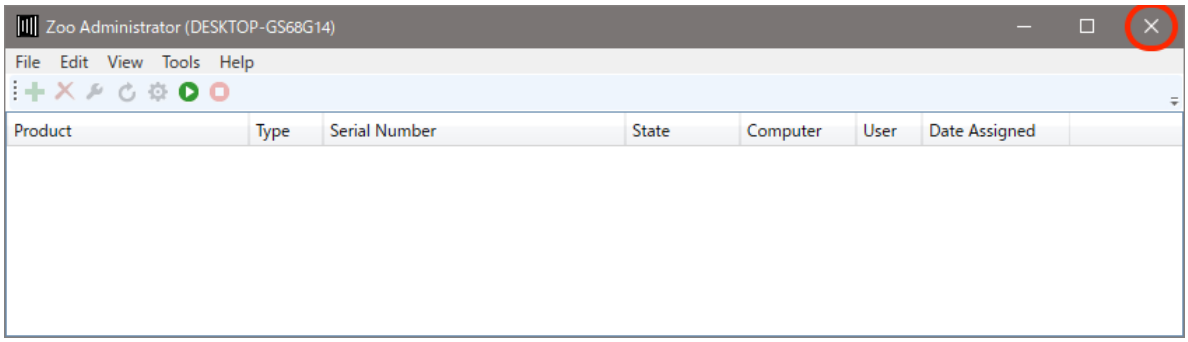
既に Zoo6、または Zoo5 を使用されている場合のアップデート方法です。

(1) Zoo6・Zoo5 を最新にする方法

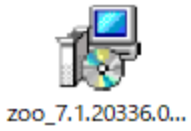
①Zoo に Rhino 7 のライセンスを登録するには、最新版の Zoo 7 をダウンロードしインストールする必要があります。

https://www.rhino3d.com/download/zoo/7/latest

②立ち上がっている Rhino ・ Zoo を閉じます。

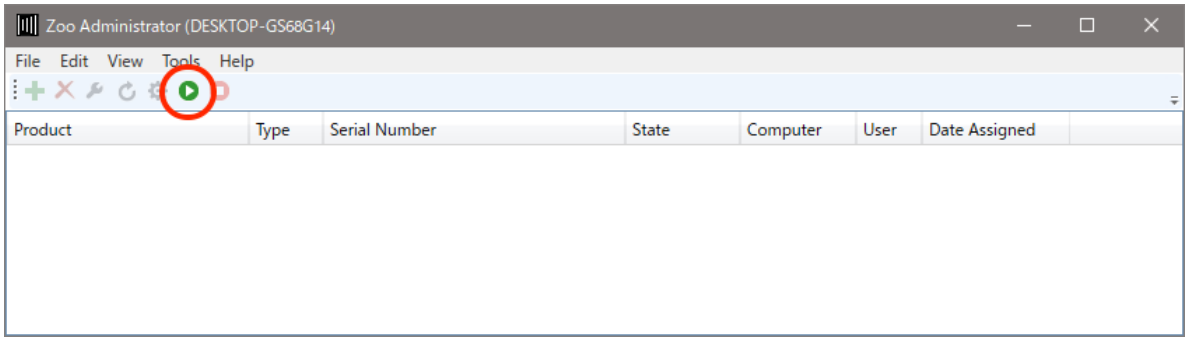


③ダウンロードした最新版の Zoo7 のインストーラを実行します。



④再度 Zoo7 を立ち上げて、Zoo を利用開始します。

もし Zoo7 が起動しない場合は Start Zoo Service ボタンを押し起動します。



6. Rhino7 インストール方法

ライセンスを Rhino アカウントまたは Zoo7 に登録したのちにインストールを行います。

(1)インストールプログラムをダウンロード

http://www.applicraft.com/rhino-download/

よりインストールプログラムをダウンロードします。

※プラグイン製品も同様です。

(2)インストールプログラムを起動

ダウンロードしたインストールプログラムをダブルクリックします。

※画像は 2020 年 12 月現在のプログラムです。

(3)「今すぐインストール」を選択または をクリックします。

【推奨】初期設定では、インストール先は“C:¥Program Files¥Rhino 7”となり、言語は日本語となります。

インストール先を指定したい場合、及び日本語以外の言語をインストールする、

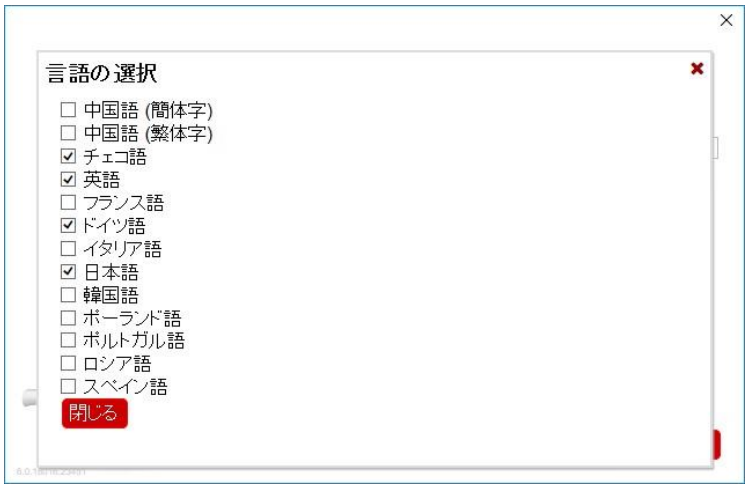
または日本語に加えて他の言語を追加したい場合は、をクリックします。

※をクリックした場合

インストールフォルダのところに指定したいフォルダを入力します。

「言語を選択…」で 13 ヶ国語から任意の言語を複数追加できます。

Rhinoceros
design, model, present, analyze, realize...
インストールフォルダ:
C:\Program Files\Rhino 6
言語: 英語、
言語を選択...
ライセンスの方法:
Rhino Account
Rhinoに自動的に新しいバージョンをダウンロードさせる
匿名のインストールの統計をMcNeelに送信
オフラインインストールのパッケージをダウンロード
今すぐインストール


言語の選択
中国語 (簡体字)
中国語 (繁体字)
チェコ語
英語
フランス語
ドイツ語
イタリア語
日本語
韓国語
ポーランド語
ポルトガル語
ロシア語
スペイン語
閉じる

Rhinoceros
design, model, present, analyze, realize...
お待ちください...
Microsoft Visual C++ 2005 Redistributableをダウンロード中

(4)完了したら「閉じる」を選択します。

(5)Rhino 起動

インストール完了後、デスクトップにアイコンが表示されるので、

アイコンをダブルクリックし、Rhino7 を起動します。

(6)ライセンス管理方法を選択

Rhino を起動すると使用許諾契約書・プライバシーポリシーのウィンドウが表示されるので同意にチェックを入れます。つぎに「ライセンス検証」画面が表示されますので、管理方法を以下から選択します。

※ライセンスの使用方法は Rhino オプション＞ライセンスからいつでも変更が可能です。

①Rhino アカウントによるライセンス認証の場合は「ログイン」を選択します。

②Zoo によるライセンス認証の場合は「**Zoo** を使用」を選択します。

(7) 「ログイン」を選択した場合

Rhino アカウントでログイン後、Rhino の使用が可能になります。

(8) 「Zoo を使用」を選択した場合

Zoo がインストールされている「コンピューター名」または「IP アドレス」を入力し、続行をクリックします。接続が完了するとオプション画面が閉じるので、その後 Rhino7 を起動します。